



世界初の全方位受光型 球状太陽電池

スフェラー、スフェラースティック、スフェラーランタン

製品の特徴

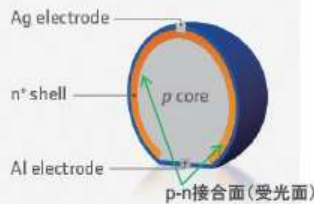
小さな球状の太陽電池は、直並列の自由な接続、様々なデザインに対応できるのが大きな特徴です。これにより、円筒形状の太陽電池で電気を蓄えて光を楽しむ「スフェラースティック」。太陽電池から砂時計の砂が落ちるように少しずつ電気を蓄え、夜ひっくり返すとやさしい光が灯る「スフェラーランタン」を製品化しました。日頃はオブジェのように飾りにもなり、停電時には灯りとして役立つ防災グッズとして、記念品、贈答品などにもご利用いただけます。

球状太陽電池

Spherical Solar = Sphelar®



セル(拡大写真)1.2/1.8mm



セル(断面図)電極が対極



スフェラースティック



スフェラーランタン

製品が誕生した背景

太陽は東から西へ移動するため、1日中同じ方向から光が当たることはなく、常に入る方向が変わります。直射光もあれば、反射光もあり、変動の大きなものです。太陽電池として考えた場合、“球状”であれば、様々な方向から来る光のエネルギーを受け取ることができます。また球状太陽電池の元となる球結晶は、シリコンを熔融すると表面張力で球形になり、それを冷やして固めるだけのシンプルな製法のため、かなり省エネで製造できます。

こんな時に活用できます！

小さなセンサー電源、スティックやランタンのように日頃利用できるグッズとして、またガラスに挟み込んだモジュールは透明性が高く表裏から太陽光を吸収できるため、サインや発電する窓ガラスに、さらに太陽電池糸を織り込んだテキスタイルに利用可能です。

スフェラーパワー株式会社

現会長の中田が、1980年に光半導体デバイスメーカーの京都セミコンダクター(株)を創業し、15年後に球状太陽電池「スフェラー」を開発しました。2012年に京都セミコンダクターの太陽電池部門を分離独立し設立したのがスフェラーパワーです。開発・製造は北海道恵庭及び上砂川事業所で行っております。

〒600-8815

京都市下京区中堂寺粟田町93
KRP6号館310号室

TEL 075-874-1474

FAX 075-874-1476

URL <http://www.sphelpower.jp>

EMAIL inquiry@sphelpower.com